

こんにちは

会社訪問記

医療系廃棄物を中心に、積極的に適正処理を推進しています。

株式会社ミズサキ

(愛知県岩倉市)

岩倉市の閑静な市街地にある株式会社ミズサキにお伺いし、水崎社長に事業内容や経営方針など、いろいろお話しいただきました。

— 創業は何年になりますか。

水崎社長 (以下水崎に略)
『平成3年です。個人でスタートして、法人組織にしたのは昨年です。私自身この業界は長いのですが、会社としてはまだ創業してから3年経過していません。若い企業といえると思います。』



水崎社長

— 事業内容を教えていただけませんか。

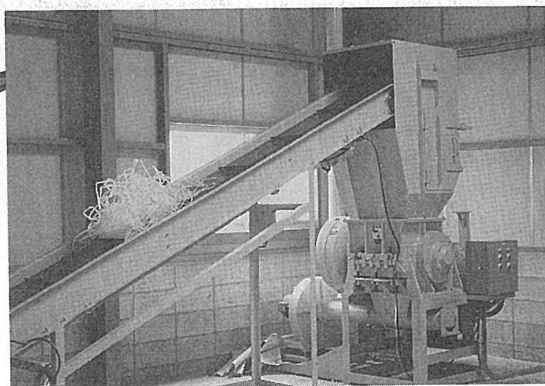
水崎『当社は、医療廃棄物をメインに収集運搬を行っております。許可品目は、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類からゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材があります。』

医療廃棄物には感染性がありますが、収集運搬時に特に注意されていることや病院側に要望されていること等あればお聞かせください。

水崎『従業員に対しては、直接手にふれないように指導しています。病院側に対してはご理解をいただいた上で、できる限り院内分別をしていただけるようお願いしています。当社の収集運搬の方法の特色は、病院にコンテナを置かせていただき、廃棄物を直接ふれることなく、運べるようにしている点です。これなら針がささるとか、血液が付着することはありません。帰りに代わりのコンテナを置いていき、収集時に交換するようにしています。この方法は、従業員の安全対策になるとともに、病院のクリーンイメージも損なわないので好評ですね。』

— リサイクルに対してはどのような考えをお持ちですか。

水崎『当社の処理処分の考えは、最終処分場に持ち込



プラスチック破砕機

まないのが基本思想です。リサイクル可能なものはできる限り行うように心がけています。リサイクルできないものは中間処理施設に持ち込み、焼却などを行い処理しています。また、プラスチックの破砕機を工場に導入しておりますので、そこで破砕したものを有価物として引き取っていただいてもいます。だいたい、月に4t車で20車程出ますね。』

— では、最後に今後の事業展望をお聞かせいただけませんか。

水崎『医療廃棄物に関してはビン類等がリサイクルに回せるだけですが、この他の産業廃棄物は、まだまだ手を加えればリサイクルできるものがあります。それらを取扱っていき、愛知県全域で事業を展開していければと考えています。また、コストダウンをいかにしていくか、も事業の発展を占う上で重要な要素です。産業廃棄物処理業はサービス業だと思いますから、いかにお客様のニーズにお応えすることができるか、が今後の鍵でしょうね。』

ソフトな口調で信念を語っていただいた水崎社長。これからもがんばってください。



社名/株式会社ミズサキ 所在地/愛知県岩倉市八幡町寺山12番地

代表者/水崎 辰彦 創業/平成3年 従業員/7名

TEL/0587(37)8773 事業所/本社、岩倉営業所

営業種別/収集運搬

取扱い品目/汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材